



Palau Parents Empowered パラオ・ペアレンツ・エンパワード

常任理事
フランチェスカ・モレイ・ミセオ
会長
ドゥワイト・アレクサンダー

主な活動内容

- 健康と教育の有識者による保護者向けトレーニング
- 治療費の募金活動
- 特別支援教育による保護者への支援
- 必要に応じた親子間の育児介入
- 海を越えたパートナーと意識を広める

設立背景

2010年6月に、米国連邦プログラムのもと教育省の援助により5か年計画で実施された障害者を抱える保護者の支援プログラムへの取り組みをきっかけに設立され、2011年に正式なNGOとして認可されて以降、若年層障害者の保護者への支援活動を継続している。

活動目的

障害のある子供や若者の親族に、必要な援助やリソースへの架け橋となること。
また、パラオの障害者のためのシステム改善を提唱すること。



メンバーからの声 フランチェスカ・モレイ・ミセオ常任理事

団体設立以前は、特別支援教育を受けている子供の親が時々集まり、パラオでの社会的、経済的な課題や、お互いの知識を共有していました。しかし、ほとんどの親たちは、どこに支援を求めればよいかわかりませんでした。そんな中、私と夫は助成金の機会があることをハワイにいる友人を通して知り、全員で申請に取り組んだのです。そうして2015年にアメリカからの助成金を得ることができました。それから、私たちは組織のキャパシティ・ビルディングに取り組み、対象となる保護者の入会を促し、中央政府機関とのパートナーシップを樹立しました。

私たちの短期目標は、現在のオフィスを改装し、日々の運営のための資金を集めることです。非営利団体として、さまざまな支援を必要とする幅広い擁護者にサービスを提供してきました。2015年に米国からの助成金が終了した後も、皆が協力して運営することで、この活動を続けています。今後も、保護者が擁護者として自分の子供の障害について知識やスキルを持ち、子供が教育を受ける権利について認識したり、養護者同士サポートできるように支援し続けたいと考えています。障害者とその家族が孤立して苦しんだり悲観せず、同じ境遇の人がいることを知り、お互いに絆を深めて、子供たちの成長と一緒に喜ぶことができる世の中を目指しています。

夫と私には、4人の子供がおり、2番目が27歳のテロイ・アンジェリックです。彼女は生まれつき言語、視覚、聴覚に障害を持っていますがとても聡明です。3歳からヘッドスタートに通い始め、21歳でパラオ高校を卒業しています。彼女は障害があるにも関わらず、家では自由に動き回り周囲のことを非常に熟知しております。そして、彼女の粘り強い性格は、課題を解くまで決して諦めない姿勢に反映され、家の周りのあらゆる鍵を見つけては施錠したり解錠したりするのが大好きです。また、誰かが家に入ってきたときには、自分の部屋からその人が通ったドアに向かって一直線に向かうため、家族の我々でさえ彼女が本当に見えたり聞こえたりできないのかと時々疑問に思うほどです。彼女の行動は私たちの想定を超える場合もあり、一日中彼女から目が離せません！そんな中、パラオ・ペアレンツ・エンパワードの活動は私たちに我が子を擁護することへの自信を与えてくれます。

Contact Information

(680)488-1432



(680)775-1432

<https://sites.google.com/site/palauparents/>



moreimisech@gmail.com